

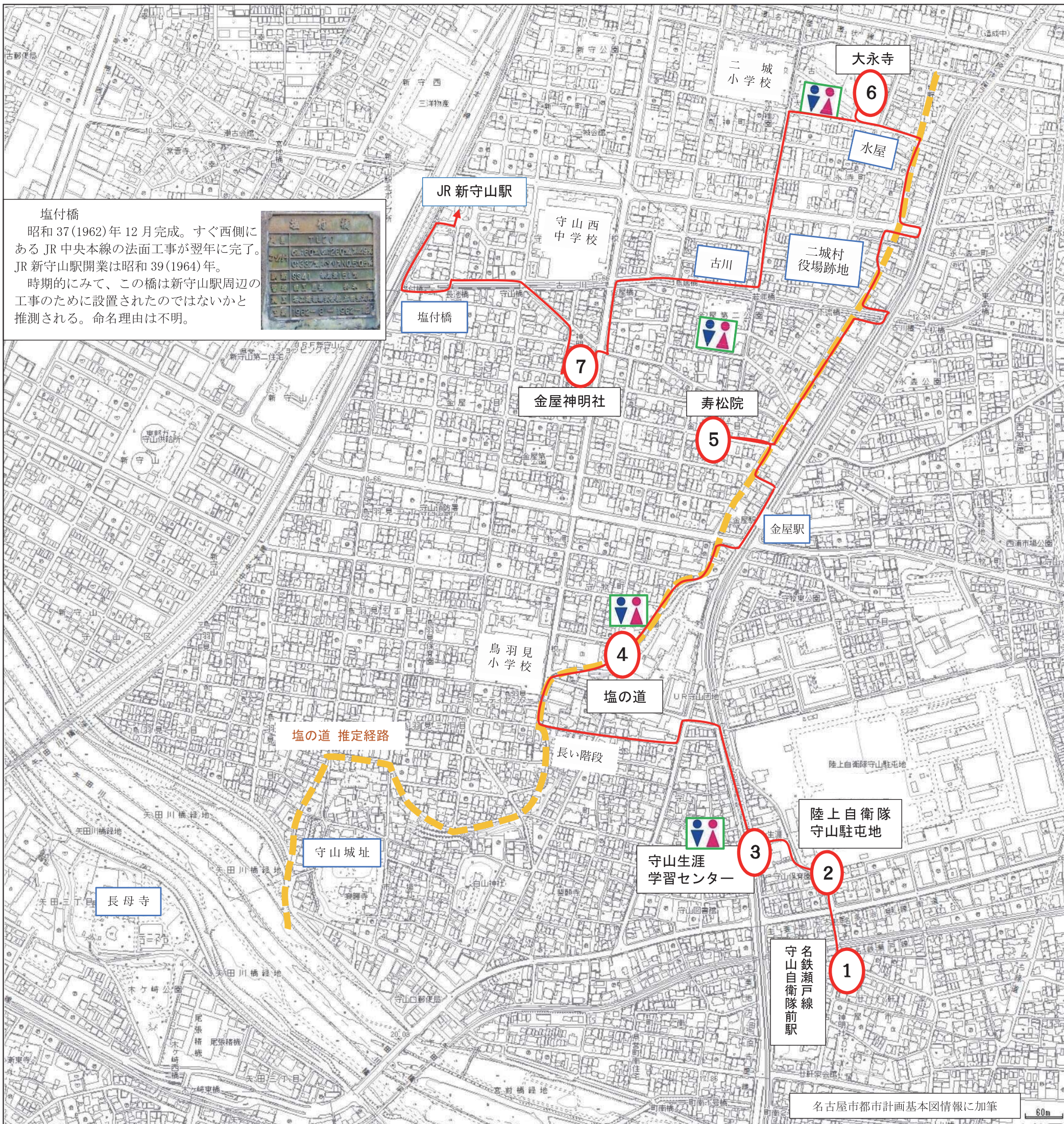
鳥羽見・二城コース

～塩の道をゆく～ 4.2km

古川(旧白沢川)
かつての白沢川は、現在の小幡緑地西園の北側から守山、瀬古へと流れる暴れ川であった。洪水対策のため明和5(1768)年に庄内川に流入するよう流路が変更された後は、旧白沢川は「古川」と呼ばれるようになった。
大永寺に残る「水屋」も、かつての洪水対策の名残と思われる。

二城村役場跡地
明治22(1889)年、明治の大合併により「守山村」「金屋坊村」「大永寺村」「川村」及び「大森垣外村(牛牧村)」は「二城村」となり、村役場が旧大永寺村に置かれていた。

ゆとりーとライン金屋駅
平成13(2001)年の開業当時から「守山市民病院駅」であったが、病院の民間委託・改名に伴い、平成25(2013)年に「金屋駅」に改称された。

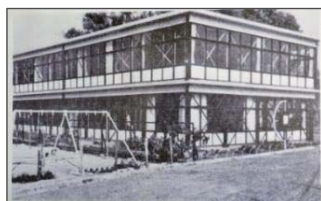


長母寺と明和の大洪水

山田次郎重忠が母の菩提を弔うため治承3(1179)年に天台宗の寺として創建した。その後焼失荒廃したが、弘長2(1262)年、又は弘長3(1263)年に無住国師を迎え臨済宗靈鷲山長母寺として再建。一時衰退したが天和2(1682)年に雪溪和尚の時、尾張二代目藩主光友公の命により再興された。当時、長母寺は守山城や宝勝寺と陸続きで、矢田川は南側を流れていた。

明和4(1767)年、洪水により矢田川が宝勝寺と長母寺の間を突き抜け流路が北側に変わった。

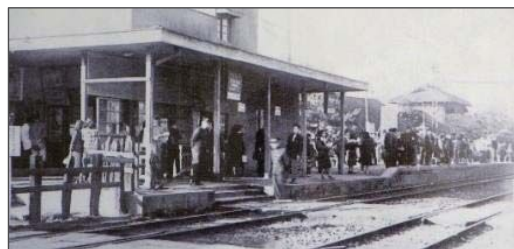
その後、長母寺は守山村の飛び地であったが、明治9(1876)年に矢田村(東区)に編入された。



守山生涯学習センターの前身、守山市時代の中央公民館
(守山市史より)



陸上自衛隊守山駐屯地にある駐屯地資料館。旧軍歩兵第33聯隊本部として明治29(1896)年に建てられた。
(守山駐屯地HPより)



昭和28(1953)年当時の「守山町駅」
(守山区誌より)